



水原郷病院の民営化について説明する天野市長

市民説明会を開催しました

7月21日から26日にかけて、市内4会場で計5回、水原郷病院に関する市民説明会を開催しました。

説明会では、水原郷病院の民営化に至った経緯や今後の予定などについて、市長が直接、市民の皆様にも説明しました。各会場とも、地域の方々と市議会議員など、たくさんの方が参加し、意見をいただきました。

市長からは、現在病院が直面している2つの危機、すなわち「資金不足による経営の危機」

と「職員のモチベーション低下による組織上の危機」について話があった後、病院事業管理者および市の担当職員が、病院の経営状況や阿賀野市の財政状況を解説し、民営化の趣旨、5月11日に締結した厚生連との確認書の概要（広報あがの7月号に掲載）、病院の将来像などについて説明しました。

参加者からは数多くの質問や意見が出され、市長や管理者との意見交換が行われました。

各会場の参加状況

開催日	会場	参加人数
7月21日(火)	笹神支所「大会議室」	約40人
7月22日(水)	京和荘「多目的ホール」	約50人
7月24日(金)	水原保健センター「研修室」	約90人
7月25日(土)	安田公民館「大集会室」	約50人
7月26日(日)	水原保健センター「研修室」	約50人

説明会での質問・意見

説明会で寄せられた質問・意見と、回答の一部を紹介します。

Q 公設民営化することで、救急体制などは以前のように戻せるのですか？

A 民営化後、仮に現在の医師が全員残ったとしても、救急体制の拡大は困難です。従って、民営化の際に、市と厚生連が協力して医師の増員に努める必要があります。県内に16病院を運営する厚生連は、強力なネットワークを持っています。このネットワークに参加することで、徐々に医師を増員しながら、救急医療をはじめとした医療体制を改善していくことが可能になると期待できます。

Q 多額の費用をかけての新病院建設は大丈夫？市の規模に見合う病院にすべきでは？

A ①建設費用：費用は起債（借金）で準備することになります。これには、国や県との協議が必要です。国や県は、市の財政状況や病院の経営状況を踏まえて起債を認めるため、これらが改善されなければ、新病院建設はできません。

②健全な病院経営：公立病院（公設民営化しても公立病院で



あることには変わりありません）には、救急などの不採算医療を提供するため、費用を一般会計から病院会計に繰出しても良いという制度があり、国からの交付税という形で財源保障があります。指定管理者には、基準に基づく適切な繰出しを行ってもらうこととなります。

③新病院の役割：新しい病院をつくるにしても、それがどういう役割を持ち、市民の求める医療にどのように応えられるかを示さなければなりません。平成19年2月の新病院計画委員会報告書では、病床数は250床程度、診療機能は15診療科程度とし、2次救急医療や小児・産科などの政策医療を行うこととされています。この報告書を基本として、厚生連と協議しながら決定することになります。

Q 厚生連との確認書では、市が民営化後の赤字を負擔したり、高額医療機器の整備をしたりすることになっていますが、負担が多すぎるとは？

A ①赤字負担：水原郷病院では、毎年度数億円の赤字が発生しています。民営化したとしても、現在と同じような条件であれば、すぐに赤字に転換することは難しく、数年間は赤字経営が続くことも考えられます。民営化直後の赤字を指定管理者の負担にすれば、指定管理者の引き受け手が出てこない可能性もあります。そこで、新病院を建設するまでの間の赤字は市が負担することにしました。

②医療機器の整備：公設民営（指定管理者制度）では、施設等の設置は公（市）が担い、運営は民間に任せるという責任分担を明確にすることが重要です。医療機器は、医療の高度化に伴い、大規模化・高額化が進んでおり、建物等と同等のものとして、市が担う部分としています。

③公設民営化の目的：重要なのは、現在の経営形態（直営）では将来に向けて希望が見出せないことから、「経営改善の達成」と市民の願いである「救急医療の回復」に希望が持てるようになることです。公設民営化は、これらの目的が達成できることを前提としています。

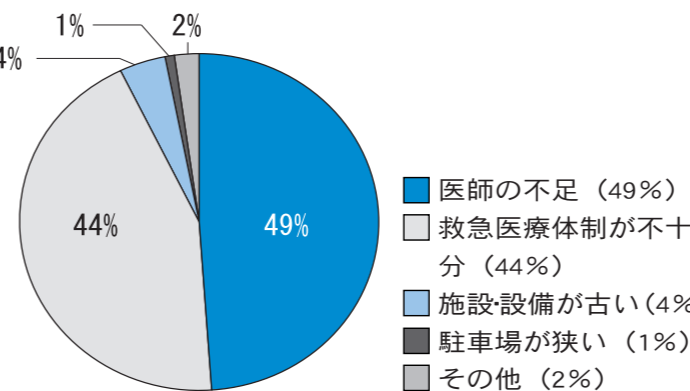
水原郷病院 公設民営化 「民営化の経緯」「今後の予定」を説明

アンケートの結果

市民説明会では、会場に参加者にアンケートを配付しました。アンケートの結果（抜粋）は次のとおりです。

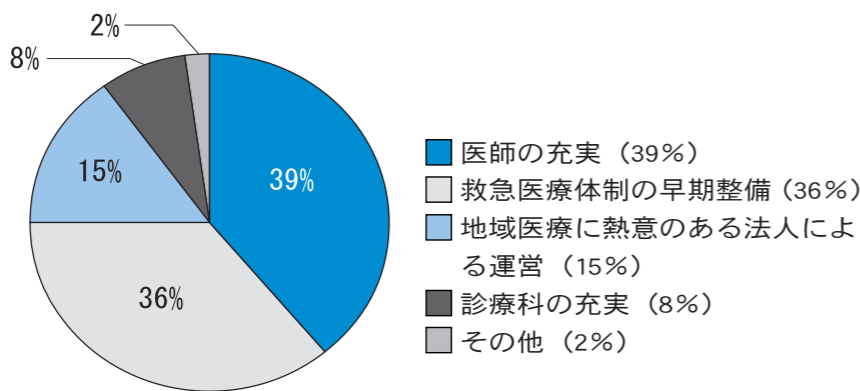
◎回答数：169人

■水原郷病院の現状について、どのように認識していますか。（2つまで選択）



■「医師の不足」と「救急医療体制が不十分」をあわせると、約93%を占めています。

■水原郷病院の運営が公設民営化に移行する場合、運営委託先に何を望みますか。（2つまで選択）



（複数回答：回答数319）
運営委託先に望むものとして、「医師の充実」と「救急医療体制の早期整備」で約75%を占めており、最初の問いの結果と連動しています。

アンケートで寄せられたご意見・ご要望の一部を紹介します。

公設民営化について

■賛成

◎水原郷病院は地域の大切な病院です。**1日も早い民営化移行**を望みます。

◎公設民営化の方針を立てたのなら1日も早く実現して、職員にも安定した身分で働いてもらいたいです。早く決めてください。

■反対

◎公設民営は望みません。**民営化後の赤字を市で負担するのでは意味がない**と思います。

◎職員、住民、行政が一体となった病院の在り方の展望を持って住民の意見が反映されるのでしょうか。

■やむを得ない

◎公設民営化はやむなしと思いますが、**利益本位になつてサービスの低下にならないように注意**してもらいたいです。経営上の赤字は、基本的に厚生連で持つのがベターと思います。

新病院の建設について

■賛成

◎（新病院を）**早くつくってもらいたい**です。

◎新病院の建設は、早期にお願いします。

◎**現在の場所での新築を強く希望**します。

◎病院の建設は必要ですが、市民の税金の負担が多くなるのではないのでしょうか。

■反対

◎借金を増やしてまで、新築すべきではないと思います。しかも、市長が考えている**現在地以外の移転新築は、絶対に反対**です。確認書は、厚生連の経営努力の姿勢が感じられません。厚生連の言いなりにならないようにお願いします。病院が生き残られたとしても、阿賀野市本体が生き残られないような借金は、絶対につくるべきではありません。

■要望

◎新しく建設すると、**市の負担が増える**ので望ましくありません。医師の増員が難しいのなら、救急医療は、新発田病院、豊栄病院、新潟市民病院などに受け入れてもらって、阿賀野市はその受け入れ先の病院に協力を払えばいいのではないのでしょうか。

◎財政難の折、新病院の建設はいいかなものではないでしょうか。現在の病院は改築も行っており、**当面は現状維持で良いのではないかと考えています。**

病院の存続について

◎地域住民の生命を守る病院として、どうしても残してほしいです。他の市町村とも連携して、救急医療体制を確立してください。新病院建設構想は早すぎます。**現在の医療充実のほう**が優先だと思っています。

◎郷病院の存続を切望します。そのために、厚生連に運営委託することはやむを得ないものだと思います。郷病院を守るために、市長・議会・市民の一致した声を上げられるように！**「郷病院を守れ」**これが声なき市民の切なる願いです。

◎老いて、身体の具合が悪くなつたときに、安心して全部診療していただけるような病院にしてほしいです。

◎労使合意できなければ、廃院もやむなしと思います（最終的には）。説明は良く分かりました。ぜひ、問題解決に向けて頑張ってください。

◎新しい病院は、現在の位置で建設してください。今の駐車場に建設し、前の方を駐車場とすることで借金も少なくなると思います。

■空き施設の活用

◎病院の設備は、まだ使えるのではないのでしょうか。白鳥荘の跡地も活用できるのでは。前の診療体制（救急医療）に早く戻れるようにお願いします。

病院への意見・要望

◎午前・午後とも、外来患者を診てほしいです。

◎まずは、医師の雑用を極力なくすことです。現在従事している医師、看護師も大事にすること。医師、看護師以外の職員は多すぎます。それから、市民が安易に救急車を利用しすぎている。夕張市の医師は、夜間の救急車には1回5万円経費がかかると、患者に直接伝えているそうです。

◎救急医療体制をできるだけ早く実現させてください。そして、市の医師会の協力を得てやってほしいです。市長および病院の役員が一致団結し、市民の健康を守るため、安心して利用できる病院にしてください。

◎公設民営化（指定管理者制度）への移行にあたり、**パブリックコメント**を行ってください。（公設民営化の是非、病院存続も含めて）

◎病院の存続の危機であるときに、職員組合はもっと協力すべきです。

その他

◎説明会について。市長の最初のあいさつは適切で良かったです。一部の説明は長すぎます。もっと説明の仕方を研究せよ！市民の声を聞く時間をもっと確保せよ。各係の答弁は誠意があり適切でした。

◎病院に限らず、阿賀野市は住民と共に考えていくという姿勢が欠けていると思います。なぜ、住民目線で物事を考えないのか、住民に語らないのか、理解に苦しみます。市長、議会、職員が一丸となって取り組むよう、方向転換をしてはどうですか。

◎意見の相違は、あることが普通です。しかし、**歩み寄ることも大切**です。給料をもらえるだけでもいいと思わないといけません。職を失うか、一時的に給料がなくなるか、せつない話ですが、頑張ってください。

◎説明会は大変良いことですが、市長がもっともつと力を入れるべきだと思います。病院職員の保障をどうするか。自分の子どもや孫が職を失った場合のことを考えてください。死活問題です。職員には家族もいます。病院は大切です。

◎困難の中、郷病院（地域医療）を守るという、医師、職員の姿勢の一端が説明され、希望が見えました。職員の雇用確保、労働条件合意までには、**紆余曲折がある**と思いますが、**誠意をもって対応**していただきたいと思っています。新病院建設は、慎重の上にも慎重を重ね、進めてください。

◎市会議員には、市政の要望を知り、一丸となって頑張ってください。市会議員と市長は一丸となって取り組んでほしいです。

◎説明会に参加して、病院、市の財政についての危機的な状況が具体的にわかり、とても驚いています。郷病院は合併以前の赤字をひきずっているということ、どうしてこのようになるまで経営していたのか疑問です。市の財政が大変なときに、私たちの血税が何年も注がれていたわけです。これ以上の投入には反対です。他のサーピスにもしわ寄せがきています。**一致団結して、市民を守ってください**。阿賀野市を存続させてください。

◎困難の中、郷病院（地域医療）を守るという、医師、職員の姿勢の一端が説明され、希望が見えました。職員の雇用確保、労働条件合意までには、**紆余曲折がある**と思いますが、**誠意をもって対応**していただきたいと思っています。新病院建設は、慎重の上にも慎重を重ね、進めてください。



アンケートの結果や皆様からのご意見は、今後の公設民営化に向けた協議等の参考とさせていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。お問い合わせ
企画政策課 病院改革推進室
☎ 61・2483